

## 日本海沿岸東北自動車道の整備促進に関する決議

日本海沿岸東北自動車道は、日本海側を縦貫する国土軸を形成する重要な路線であり、北陸、関越自動車道、東北縦貫自動車道と連携し、広域交流の促進はもとより、地域の個性を活かした新しい文化の創造と企業誘致、観光産業の振興など地域経済の発展に大きく寄与するものである。

当路線は並行する一般国道7号等の交通混雑の緩和や新潟都市圏と県北地域との経済交流等による地域活性化を図る重要な路線であるとともに、県北地域の救命救急医療や災害時の支援物資の輸送に重要な役割を担う「命の道」でもある。

これまで従来の有料道路方式で整備が進められた新潟中央JCT～荒川胎内ICまでに引き続き、新直轄方式で整備を進めてきた朝日まほろばICまでが平成23年3月に供用開始され、これにより整備計画区間についての整備は全線完了したところである。

しかし、その先の新潟・山形県境区間である朝日まほろばIC～あつみ温泉IC間については、平成25年1月に都市計画決定されたものの、工事着手の目途は立っていないという状況にある。

高速道路はネットワーク化されて始めて最大の効果を発揮するものであり、その整備に当たっては、短期的な経済効率性や採算性の視点からだけでなく、強靱な国づくり、豊かな地域づくりに果たす役割・必要性など十分に考慮し、長期的な視野に立って整備していくことが重要である。

また、東日本大震災において、港湾をはじめとする社会資本整備が太平洋側に偏り、東北地方における災害時のリスク分散や代替機能の確保が不十分であることが顕在化した。そのため、今後は日本海側の物流機能の重要性を改めて認識し、バランスの取れた社会資本の整備を早急に進めることが必要である。

日本海側と太平洋側の国土軸を均等に整備することにより、両者の補完体制も整い、災害に強い国土の形成、更には強固な経済基盤を構築するものである。

このようなことから、村上市議会は、ここに、日本海沿岸東北自動車道の早期建設にかける地域住民の熱意を改めて表明し、次のことを強く要望する。

### 記

- 1 新潟・山形県境部の「朝日まほろばIC～あつみ温泉IC間」において、平成25年度新規事業化を早期に実現すること

以上決議する。

平成25年3月21日

新潟県村上市議会